

建築ストック 1997年着工

No.1620

一覧の見方
 物件名 発注者(住所、代表者)
 ①施工者(工事請負額)②設計者
 ③建設地④規模⑤工期

札幌地区

民間

⑤97年8~10月
 ツタヤ西岡店新築 フジタコーポレーション(苫小牧市若草町5-3-5、藤田博章)①坂本建設②坂本建設③札幌市豊平区西岡3-1-35-15④S造2階1368㎡⑤97年8~11月

アミューズメントホール「キャッツアイ新札幌」新築 北東商事(札幌市豊平区平岸2-3-6-30、松本昭)①勝村建設②マキタ設計③札幌市厚別区厚別東5-1-298-4④S造3階塔屋1階4484㎡、ゲームセンター、カラオケボックス⑤97年8~11月

プレミール二十四軒新築 弘成産業(札幌市中央区南9西4、塩田計男)①丸菱建設②丸菱建設③札幌市西区二十四軒4-4-117-3④S造4階897㎡、1DK12戸、2DK3戸の計15戸⑤97年8~11月

米永マンション新築 米永登(札幌市豊平区平岸7-16)①鈴建興業②鈴建興業③札幌市豊平区平岸4-11-27-1④RC造4階818㎡、オーナー住宅3世帯と賃貸2DK3戸⑤97年8~11月

光新星北海道支店新築 光新星(大阪府大東市諸福5-13、當山隆則)①地崎工業②地崎工業③札幌市豊平区月寒東1-17-58-1④S造平屋一部2階1254㎡⑤97年8~12月

東京めいらく札幌営業所移転新築 東京めいらく(名古屋市中区中砂町310、日比孝吉)①大和ハウス②大和ハウス③札幌市白石区光里228-1

駒岡資源選別センター 財団法人札幌市環境事業公社(札幌市中央区北1東1、前田悦雄)①主体(実施設計込み)=地崎工業(11億4100万円)、プラント(同)=クボタ(5億4100万円)②基本設計=サンコーコンサル、主体実施設計=地崎工業、プラント同=クボタ③札幌市南区真駒内129-30④S造2階5291㎡⑤97年7月~98年8月

資源選別北工場新築 財団法人札幌市環境事業公社(札幌市中央区北1東1、前田悦雄)①主体(実施設計込み)=岩田建設(11億9100万円)、プラント(同)=極東開発(7億6800万円)②基本設計=サンコーコンサル、主体実施設計=岩田建設、プラント同=極東開発③札幌市東区中沼町43-24④S造2階6275㎡⑤97年7月~98年8月

分譲MS「サウスガーデン山鼻」新築 トーメン不動産札幌支店(札幌市中央区大通西3、伊藤修二)、住友不動産道支店(札幌市中央区大通西5、本橋正文)①中山組・東急建設JV②近藤設計企画③札幌市中央区南18西12-853-14④SRC一部RC造地下1地上14階7113㎡、2LDK22戸、1LDK27戸

北14西4に分譲MS

日本グラランデ 施工者は今後決定

日本グラランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、分譲マンションの仮称「ランファール北大前新築」を計画している。4月下旬の着工と2024年10月の完成を目指す。施工業者は今後決める見通しだ。

RC造、13階、延べ2564平方メートルの規模で、1-3LDKを12戸ずつ計36戸配置。エレベーター1基のほか、共用施設としてマルチルームや屋上庭園などを設ける。設計は自社で担った。建設地は札幌市北14西4丁目8の1の敷地670平方メートル。西5丁目樽川通の東側で北大病院が近いほか、地下鉄南北線北12条駅やJR札幌駅が徒歩圏にある。

23年9月にも着工する。10月には人事制度の刷新に着手し、人件費ベースで4%強の底上げを図った。社員の平均所得の引き上げや、本社事務系の賞与の支給率の統一、考課制度などを改革した。CS2027を進めるに当たり、清河社長は選り型のマスターリースを積極的に展開し、さまざまなパターンをメニュー化してオーナーに提案する」と説明。賃貸仲介に次いで力を入れる不動産売買も5力年で売り上げ8億円を目指す。

39区画、25年4月着工へ 丸海の倶知安山田別荘開発

【小樽】不動産開発を手掛ける丸海(札幌市中央区南16条西8丁目1の38、吉川徳真社長)は、倶知安山田地区の土地10畝で開発予定の別荘に、区画数を39区画とする方針を固めた。別荘の建築は2025年4月着工を目指す。

建設予定地は二セコウらふ3条152の敷地10万3302平方メートル。レストランや店舗が入るセンターハウス2棟も新築する。道道蘭越二セコ倶知安線からローワーヒラフ地区につながる延長700メートル、全幅12メートルの取り付け道路も設ける。別荘は1区画当たり1000平方メートル以上とし、各オーナーが設計者、施工業者を選ぶ。プロジェクトマネジメントを二セコリアルエステイト、センターハウスの建築設計をALA、土木設計を拓殖設計が担う。土木とセンターハウスは

グループ売上 27年までに120億円



常口アトム(本社・札幌)は、2022年10月からスタートした5力年の新中期経営計画「CS2027」で道内管理戸数を6万戸に増やすほか、グループとして売上高120億円を目標に掲げる。「最初の2年間はチャレンジ期間と位置付け、サブリース・マスターリースの展開やオーナーに不動産活用を提案を

リースや不動産の活用 オーナーへの提案強化

常口アトム 清河智英社長

積極的に進める」と話す。清河智英社長は「写真、賃貸仲介、賃貸管理、売買仲介の連携により経営基盤を強化する考えだ。前計画(20~22年)の最終年となる22年9月期決算は、グループで売上高を約107億円、経常利益を約6億7000万円とした。清河社長は「ほぼ計画通り。やってきたことが着実に積み上がった」と振り返る。

10月には人事制度の刷新に着手し、人件費ベースで4%強の底上げを図った。社員の平均所得の引き上げや、本社事務系の賞与の支給率の統一、考課制度などを改革した。CS2027を進めるに当たり、清河社長は選り型のマスターリースを積極的に展開し、さまざまなパターンをメニュー化してオーナーに提案する」と説明。賃貸仲介に次いで力を入れる不動産売買も5力年で売り上げ8億円を目指す。

1月の国債買入 過去最大23兆円 日銀発表
 日銀は、1月の国債買入入れ額が月間で過去最大の23兆6902億円だったと発表した。昨年12月の金融政策決定会合で、日銀は大規模緩和策を一部修正し、容認する長期金利の上限を引き上げた。追加の政策修正を見込んだ投資家の国債売りが加速し、長期金利の上昇(債券価格は下落)圧力が強まったことから、金利抑制に向け大量の国債買入を強いられ

道内1月に15件連続で 帝国内2カ月連続で札幌調べ
 帝国内2カ月連続で札幌調べ。支店が2日発表した2023年1月の道内企業倒産状況によると、件数は15件で前年同月の8件から倍近くに増えた。負債総額は92%増の16億5300万円。件数は2カ月